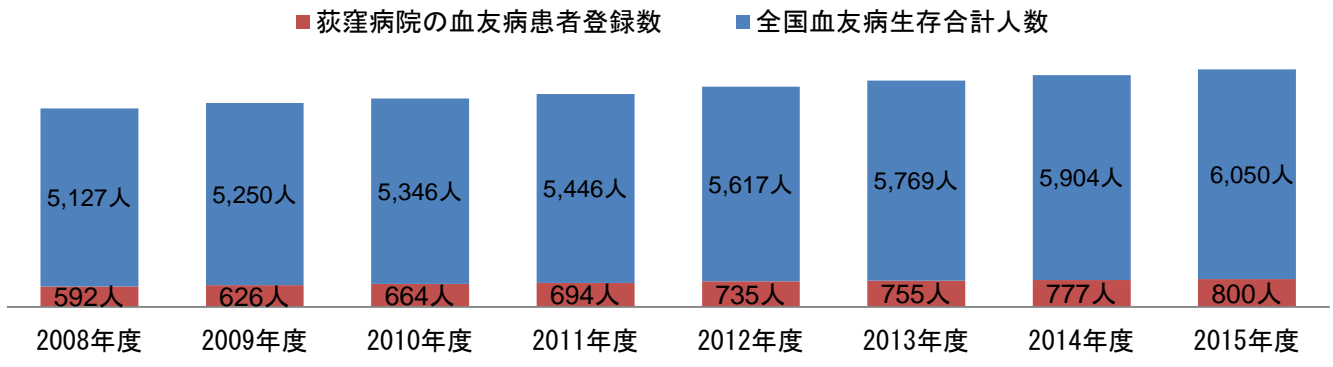


荻窪病院の血友病患者登録数



出所：公益財団法人 エイズ予防財団 平成 27 年度（2015 年度）血液凝固異常症全国調査報告書（全国患者数）

■ 血友病治療における日本最大規模のセンターとして

荻窪病院は全国の血友病患者約6,000人のうち、約13%の方が登録している国内最大規模の治療センターの役割を担っており血友病、フォンヴィレブランド病の患者さんや第7因子欠乏症や第10因子欠乏症の患者さんが検査や治療に荻窪病院を訪れています。

薬害エイズが社会問題化する1990年代には「血友病すなわちエイズ」という誤解や社会的な偏見等多くの課題と向き合いながら診療を継続し、エイズ診療拠点病院制度が立ち上がった当初から拠点病院の指定を受けました。その後、感染症へも先端的に取り組み、治療薬剤の早期導入を目指して臨床試験制度の改革等に尽力しております。今後も高齢化する患者さんの管理の充実や専門医不足から来る治療格差をなくすため各地の医療機関とのネットワーク活動の充実を目指して努力して参ります。

